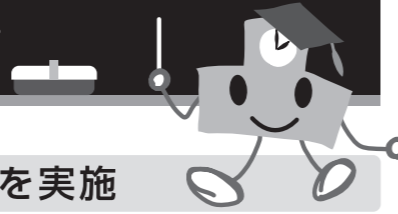


# 小学校の事例 南区 駒岡小学校

## 学校林や屋上ビオトープを活用した緑化活動。

山間という緑に恵まれた環境を生かし、緑化プランを実施。全員が入団している「緑の少年団」で季節に合わせて多様な活動を。自然環境を理解しながら人間的にたくましく成長。



### はじめに 緑豊かな環境を生かし 緑化プランを実施

本校は緑豊かな山間にある小規模特認校で、学校林を活用した独自の自然教育を行っている。平成21年には開校60周年を記念し、札幌市環境局みどりの推進部の支援のもと提出した校舎の屋上緑化プランが、財団法人都市緑化基金と生命保険会社が募集するみどりの環境デザイン賞の中の「国土交通大臣賞」を受賞。その助成金により緑化プランを実施した。

平成22年5月には、学校を周囲の自然と一体化させることを目的とした「屋上ビオトープ」が完成。校舎が山と川に挟まれており、リスのためのブリッジや、低木類の植樹、ヒートアイランドの防止などのほか、鳥が生命を育む場所「自然のゆりかご」となるようにという願いを込めて作られた。屋上庭園とは異なり、風や

野鳥、エゾリスなどが周囲の森から運んでくる種などを屋上で受け止め、森へと育てていく取組となっている。小動物などを引き寄せるため、北海道在来種の中からエゾノコリンゴやホザキシモツケなど実のなる植物を屋上に植栽し、通路や隠れ場を整備している。



屋上ビオトープ

### 内容 「緑の少年団」の活動を中心に 多様な体験学習・森林学習を実施

本校は「環境を地球規模で考え足下から行動する」を環境学習の柱とし、児童が6年間をとおして自然体験活動を行う体制ができている。児童全員が緑を



「学校林」の植物調べ

愛し、守り、育てることを目的として活動する全国組織「緑の少年団」に入団しており、その活動を中心に、身近な自然を理解する森林学習のほか、季節に合わせて次のような野外活動を行っている。

- 学校林の下草刈り・芝刈り
- シイタケの植菌
- 子ども樹木博士認定活動
- 木や森の話と植樹体験活動
- ネイチャーゲーム、ツリークライミング
- 緑の募金活動
- 里山に向き森林体験学習
- 学校林冬のトレッキングと観察
- 巣箱かけ・巣箱はずし

自然体験活動は季節や山のサイクルに合わせて、生活科や総合的な学習の時間を利用して行う。1年生は入学後まず、マイツリー(自分の木)を選び学校林と仲よくなる。また、山を守り育てるために毎年全校児童で植樹をしており、今年はサクラ40本、マツ40本を学校林に植えた。

### 効果 自然環境の理解に加え 安全管理と学ぶ機会に

五感を使った遊びの幅が広がるとともに、豊かな感性や観念が育てられている。また、低学年から農業体験や野外宿泊をとおして、子ども同士で役割分担や安全管理を考え伝え合うなど、野外での活動により、児童はたくましく成長している。

動植物のようすを身近に目で見て、触れて、体験し、理解することにより、推測する力、調べる能力や行動力、実践力が身に付き、森林を含めた自然環境について、大事なものを、守っていかねばならないものだという実感が生まれている。また、自分たちも自然の中の一部であり、人間が何をしてもよいわけではないことを理解する機会となっている。

活動の中には、児童はその時点では楽しく行うことが中心で取組の意義を理解できていない場合もある。

屋上にはビオトープをはじめとした本校を一望できる定点カメラ「屋上ビオトープカメラ」を設置しており、より自然な動植物のようすがわかり、身近に感じられる環境が整っている。花の種は蒔いていないのにヒマワリが咲いた、チョウの羽が落ちていた、といった観察から、鳥や小動物の行動を推測している。

しかし成長に伴い「なぜ樹を植えたのか」等について考え、理解していくようになる。高学年では活動によって感じたことや調べたことを模型やクイズブック、木の葉の標本などに表し、自然体験活動の集大成として作品展示室に展示している。



木の葉の標本

### 今後 「遊ぶ」ことから「見つめ 考える」ように意識の向上を

本校は森林での活動により、児童の中に「命のつながりを感じ、将来に渡って自然との共存に貢献できる感性」を育てている。児童は虫や季節の植物などに強く興味をもっているため、NPO法人森林遊びサポートセンター他との連携で行われるツリークライミングを「自然の中で遊ぶ」行動から「自分も自然の一部である」「鳥の目になり自然を見つめる」という意識に高めていきたいと考えている。このような取組により、社会に向けての知識、基盤作りをし、自分たちの活動の意味を考え、理解できるよう導いていきたい。



校舎前を流れる川

広げよう つなげよう 環境学習の輪

実施校からメッセージ

本校での教育は、駒岡の自然の中で豊かな人間性と生きる力を育み、将来に渡って自然環境に貢献するための、「子どもの心に木を植える活動」だととらえて指導に当たっています。当校にはPTAとは別に、陶芸家中村裕さんを代表とした地域の方々で構成される「7年1組」という組織があり、野焼きをはじめとした様々な活動を支えてくれています。